

## 先進事例検索システム

事例No.	1360
公表年度	R2
団体の属性	市区
団体名	愛知県岡崎市

事例区分 (大)	公共施設管理
-------------	--------

事例区分 (小)	公共施設等総合管理 計画
-------------	-----------------

事例種類	立地適正化事業
------	---------

### 事例内容・タイトル

岡崎市シビックコア地区駅前広場ペDESTリアンデッキ整備事業
--------------------------------

### 出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和2年7月）
--

# 立地適正化事業 ③

愛知県岡崎市(人口38.7万人) 岡崎市シビックコア地区駅前広場ペDESTリアンデッキ整備事業

## 事業の概要

駅周辺にある市有地を活用し、民間事業者の提案を受けて新たに交流拠点の整備等を行い、岡崎駅前の魅力あるまちづくりを促進するもの。

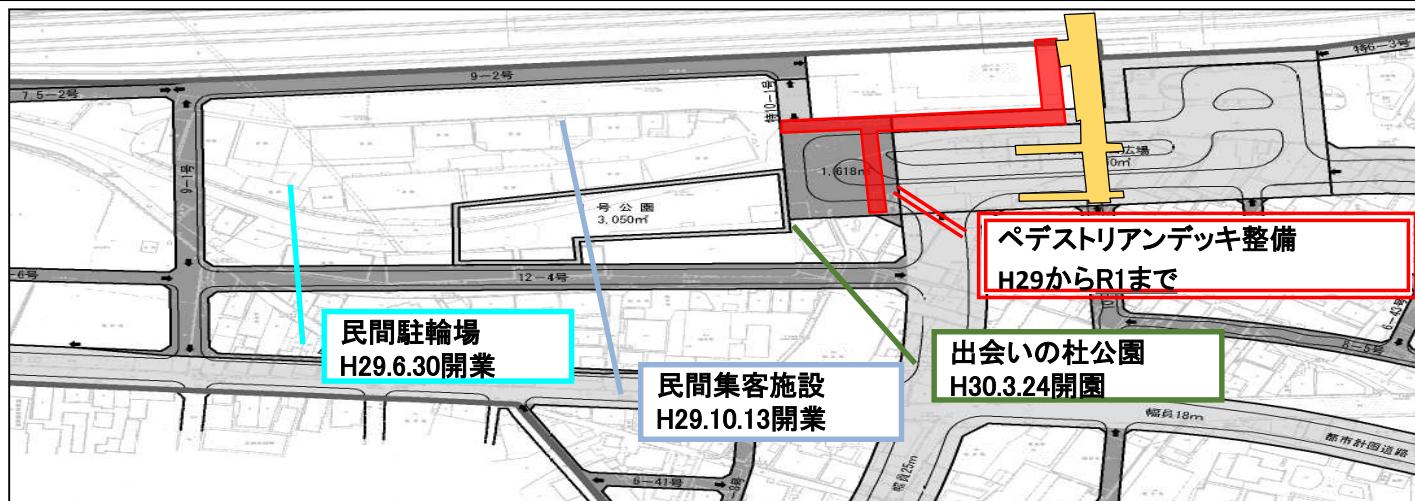
## 事業のポイント

【課題】岡崎駅東地区は、交通拠点として明治・大正時代から発展してきた既成市街地だが、近年は都市機能の低下などが問題となっていた。

(個別施設計画)  
岡崎市立地適正化計画

事業実施期間: H29~R2年度  
総事業費12.3億円

令和元年度完成



ペDESTリアンデッキ整備



民間集客施設・駐輪場 出会うの杜公園

## 事業の効果

- 国庫補助事業と一体となって実施する地方単独事業に対して、充当率の高い地方債を活用することで、事業を着実に実施するとともに、財政負担の平準化を図ることができるようになった。
- ペDESTリアンデッキ整備により、駅前広場及び周辺の利便性向上、駅前広場での歩行者の安全確保と渋滞対策を図る。